

令和7年度 第2回学校関係者評価委員会および  
信頼される学校づくりのための委員会 議事録

鹿児島県立屋久島高等学校

1 日 時 令和8年2月12日(木) 10:25~11:35

2 場 所 本校会議室

3 出席者(計11名)

(1) 評価委員(4名)

・本校PTA会長, 同窓会長, 屋久島町教育委員, 中央中学校長

(当日欠席:女性団体連絡協議会会長)

(2) 学校側出席者(7名)

・校長, 教頭, 事務長, 教務主任, 進路指導主任, 生徒支援主任, 保健副主任

4 会 順

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 学校概況について(教頭)

ア 本年度の生徒募集の取り組みと本年度志願状況について

イ 各種大会, 検定等の実績, 進路状況について

ウ 保護者による学校評価アンケート分析

エ 職員による自己評価アンケート分析

オ 生徒による自己評価アンケート分析

カ 信頼される学校づくりを目指して

(4) 活力と潤いに満ちた特色ある学校づくりのために

ア 教務部

イ 進路指導部(p7の卒業予定者の進学・就職状況の説明も含む)

ウ 生徒指導部

エ 保健部

オ スクールポリシーについて

(5) 協議

(6) 連絡事項

(7) 閉会のことば

5 協議における評価委員からの感想・質問等

(泊 PTA 会長)

「ICT・生成 AI の活用」

・ 議事録作成への生成 AI 導入を肯定。業務のスリム化と時間短縮の重要性を強調。

「広報活動(SNS)の継続」

・ Instagram 等の更新努力を評価。生徒への影響力が大きいため、今後も継続を希望。

「情報発信と家庭への伝達」

- ・ 学校側の対応（いじめ・トラブル対応等）は適切だが、子どもから家庭への報告が不足している現状を指摘。
- ・ 安心メール、LINE、ホームページ、SNS等を多角的に活用した情報発信の検討を要望。
- ・ PTAとしても、家庭内での会話を促進するよう働きかけを行う。

#### 「学校の魅力発信（ロコミ）」

- ・ 面接や小論文指導などの手厚い教育体制に感謝。
- ・ 「屋久島高校に入学してよかった」というポジティブな評価を保護者から発信できるよう、PTA活動を通じて周知していく。

（町教育委員鹿島さん）

#### 「アンケートの活用方法と現状分析」

- ・ 現状の課題：例年「実施・集計・報告」が形骸化しており、結果をどう具体策に繋げるかが不明確である。
- ・ 改善の方向性：単なる報告で終わらず、学校運営の改善に役立てる「活きたアンケート」にする必要がある。

#### 「回答率向上と設問の具体化」

- ・ 設問の明確化：現在の設問（例：進路指導について等）は漠然としており、保護者が判断に迷う場面がある。
- ・ 改善案：学校側が「具体的にどの部分を評価してほしいか」の視点（モデルケース等）を提示することで、保護者がより回答しやすくなる工夫を検討する。

#### 「地域社会との連携強化」

- ・ 対象の拡大：保護者だけでなく、各地区の区長や団体代表者など「外部の視点」を取り入れたアンケートの実施を検討する。
- ・ 期待される効果：内部（教職員・保護者）では気づけない、地域における学校の評判やブランドイメージを客観的に数値化できる。
- ・ 外部から見た学校のイメージを把握し、地域住民の関心・意識を高める。
- ・ 行事（体育祭・文化祭）や SNS（Instagram）、ホームページ等の発信活動と連動させ、地域を巻き込んだ学校づくりを推進する。

（榎同窓会長）

#### 「生徒募集と学校の魅力発信」

- ・ 出願状況への注視：各校が生き残りをかけ、情報発信や魅力ある学校づくりに注力している現状を認識。
- ・ 教員の取り組みへの評価：現場の教員による募集活動の工夫や努力を高く評価。

#### 「学習指導の充実とツールの活用」

- ・ ICT教材の積極利用：「スタディサプリ」等の学習支援ツールをさらに活用し、教科指導の強化を図ること。
- ・ 制度の活用：「みらい留学制度」などを組織一体となって推進し、教育環境を強化すること。

#### 「地域における学校の役割と期待」

- ・ 最高学府としての責任： 域内唯一の最高学府として、学校の自立・存続が地域全体に与える影響は極めて大きい。
- ・ 地域への波及効果： 学習面だけでなく、環境構想に関する発表などの課外活動が地域に好影響を与えている。
- ・ 教員への激励： 地域への貢献に自信を持ち、今後も積極的な指導を継続してほしい。

(中央中学校校長先生)

#### 「進路保障の強化」

- ・ 現状の強み： 限られた環境下での進路保障(進学・就職)は、本校の大きな武器である。
- ・ 今後の方針： この強みをさらに磨き上げ、実績を確固たるものにする。

#### 「広報塔としての生徒の姿」

- ・ 考え方： 高校生自身が「学校の広告塔」という意識が重要。
- ・ 期待される効果： 生徒が楽しそうに活動する姿は、中学生の志望度や保護者の信頼感に直結するため、日々の生活の充実を図る。

#### 「家庭学習の現状と課題」

- ・ 現状の課題： 小・中学校からの指導の積み重ねが必要だが、家庭での誘惑も多く、学習の充実に苦慮している。
- ・ 指導の再考： 教師側の思いと生徒の実態にギャップがあり、指導が「自己満足」に陥っていないか検討が必要。
- ・ 今後の手立て： 本当に生徒のためになる家庭学習のあり方を見直し、具体的な改善策を講じる。